

第39回新技術・新工法発表会に関するアンケート調査結果

I. 特に興味のある発表課題(回答者:40人) ※複数回答可

発表課題	人数	(%)	興味のある内容
①講話 国土交通行政の最近の状況について	9	17.6	<ul style="list-style-type: none"> ワークバランスの推進。 建設現場におけるワーク・ライフ・バランスの推進 快適トイレの導入による職場環境の改善 国交省の施策について 予算推移、工事時期の平準化 I-Constructionの推進について 労働者の減少 ICT活用工事の実績情况 最近の建設業の現状が分かった
②講話 「I-Construction」の現状について	9	17.6	<ul style="list-style-type: none"> 施工者希望型における活用件数の多い新技術 新技術・新工法の活用の状況 公共測量の変化 I-Constructionの現状について 新技術の活用実績 I-Conの効果、新技術 ICT土工、3次元測定、設計 検査書類が減る 中国地盤の取組情况
①技術発表 脱塩工法および再アルカリ化工法の新しい施工方法の開発	7	13.7	<ul style="list-style-type: none"> SITECH 3D、土量計算の省力化 アークカーテンを活用した補修技術 時代ニーズにマッチしており興味深かった コンクリート補修の新工法について多少理解が深まった コンクリートの再アルカリ化 従来技術に比べて、簡易に施工ができると感じた
②技術発表 汎用型低炭素コンクリート「LHC」の開発	3	5.9	<ul style="list-style-type: none"> 環境にやさしい建設資材の開発 時代ニーズにマッチしており興味深かった
③技術発表 「I-Construction対応システム「SiTEScope 2017」「SiTECH 3D 2017」のご紹介	14	27.5	<ul style="list-style-type: none"> 摺りつけ部の土量算出等、通常の出来形管理では測定が困難な箇所が点群データにより簡単に算出できる点。 3Dソフト 点群データと図面データが取り込みが早く処理できたこと。 サイトスコープの不要点削除機能。 データ処理能力の向上 3Dデータの作成 I-Constructionの対応システム 出来形の自動作成ソフトウェア 図面からデータ読みができる 会社が使用しているソフトのため 自動図面作成 現在のソフトのすばらしさを感じた
④技術発表 写真データを用いた出来形評価データの作成手順と課題	9	17.6	<ul style="list-style-type: none"> 写真からデータが作成可能 コンサルの活用出来る分野になりうる。 データの処理スピードの短縮 出来形の評価方法 出来形評価のデータ作成 PC性能とデータ容量
		51	100

II. 本日の講話についての感想、今後聞いてみたい内容等

「国土交通行政及び具体的施策等」について、今後希望する内容等について	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策の内容など(現状・展望) 次世代社会インフラロボット 入札制度の展望 設計変更 構造物における老朽化対策について 災害時の対応及び対策 書類の簡素化 I-Constructionの動向について I-Constructionの実施事例について 総合評価の技術加算点の評価方法 現場の現状、問題解決の内容と方法について これから目指す建設業のスタイル
------------------------------------	--

III. 技術発表全体について

発表課題	内容の理解について			発表時間について		
	よく理解できた	ほぼ理解できた	出来なかった	短い	丁度良い	長い
①脱塩工法および再アルカリ化工法の新しい施工方法の開発	18%	61%	21%	13%	79%	8%
②汎用型低炭素コンクリート「LHC」の開発	26%	53%	21%	8%	84%	8%
③「I-Construction対応システム「SiTEScope 2017」「SiTECH 3D 2017」のご紹介	29%	68%	3%	16%	84%	0%
④写真データを用いた出来形評価データの作成手順と課題	8%	79%	13%	13%	82%	5%
計	20%	65%	14%	12.50%	82.24%	5.26%
	31	99	22	19	125	8

V. 今後の業務に活かせるか。

活かせる	12	31%
少し活かせる	21	54%
どちらともいえない	6	15%
計	39	100%

VI. 会場について

Q-1.会場の利便性(交通機関、駐車場)

会場の利便性(交通機関、駐車場)	人数	(%)	意見
良い	20	50%	
普通	18	45%	
要改善	2	5%	・駐車場がない ・場所が分かり難い
計	40	100%	

Q-2.設備等(収容人数、資機材)

設備等(収容人数、資機材)	人数	(%)	意見
良い	20	50%	
普通	14	35%	
要改善	6	15%	・テーブルがあれば良かったと思う。 ・机が欲しい。 ・資料がおけるテーブル的なものが欲しい
計	40	100%	

VII. 今後の発表会のあり方

Q-1 発表会の内容

品質確保	18	24%	
老朽化対策	11	15%	
災害・防災	9	12%	
建設リサイクル	2	3%	
施工技術(I-Constructin)	20	27%	
情報技術(GIM)	11	15%	
環境対策	3	4%	
その他	1	1%	・狭陰部におけるコンクリート切断工法等
計(回答者)	75	100%	

Q-2 ご意見、ご要望、提案等

<ul style="list-style-type: none"> ・新技術を用いた施工現場の紹介 ・今回の内容は良かったと思います。 ・今後も年に2階程度の発表を行って下さい。 ・次世代社会インフラロボットの紹介 ・水中ロボット活用状況 ・老朽化対策等の事例などの発表 ・I-Construction測量技術については進歩しすぎて理解するのが難しい ・限られた時間のためか、進め方が早すぎる ・I-Constructionの取組み概要の説明よりも実際に行った事例について聞きたい ・新技術の良い結果だけではなく、今後の改良時等あればそれも聞きたかった ・実際の現場で発生している問題点や今後の課題が知りたい ・I-Constructionの取組み概要の説明よりも実際に行った事例について聞きたい優位性が現場担当者レベルでも理解できる資料 ・発表はいつもメリットの説明、デメリットの話がないと良さが分からない
--

VIII. その他 協会の事業活動についてのご意見・ご要望

<ul style="list-style-type: none"> ・いつもお世話になります。継続してお願いします。 ・引き続き新技術・新工法に関する講習会を開催して下さい。 ・更なる技術活用の実演や講習の実施 ・いつも勉強になる内容で感謝致しております。 ・現場の担当者が参加できるものを実施して頂きたいです。 ・若年者限定でも内容のレベルを下げた内容でも興味があれば助かります。 ・安全は必要である。出前講習(安全訓練など)をお願いしたい。 ・協会としてマシンコントロールの使用の話をして欲しい。最後の2つの話はよその講習で良く聞きます。協会名の建設機をマシンコントロールで施工したビデオ、問題点等の講話が良いと思う。
--

区、勤務先の業種

製造業	3	8%
建設業	29	73%
商事会社	0	0%
サービス業	0	0%
リース・レンタル業	3	8%
団体・コンサルタント	5	13%
官公庁	0	0%
その他	0	0%
計	40	100%